

アクセクス No.3960 ネオクリヤー
アクセクス No.3962 ネオフラット半ツヤ
アクセクス No.3965 ネオフラット

仕 様 書

和信化学工業株式会社

木工塗料事業部

平成 年 月 日

アクレックス No.3960 ネオクリヤー
 アクレックス No.3962 ネオフラット半ツヤ
 アクレックス No.3965 ネオフラット

本品は揮発性有機化合物(VOC)の含有率が1%未満の水系低 VOC 塗料です。
 近年、化学物質に関わる規制が厳しくなっており、この規制は塗料業界においても例外ではありません。
 そのため、塗料も油性塗料から水系塗料への移り変わりが進み、環境対応に向け大きく前進していますが、
 環境対応が進むにつれ、塗料中の揮発性有機化合物(VOC)の含有率を問われるケースが増えて
 おり、環境対応型塗料は、今まさに揮発性有機化合物(VOC)1%未満の低 VOC 塗料が求められてい
 ます。この動向に対応するべく、VOC 1%未満の水系低 VOC 塗料を開発しました。

本品は、揮発性有機化合物(VOC)の放散はもとより、ホルムアルデヒド放散量も F レベルで、
 化学物質の放散量が極めて少ないタイプの塗料になります。

また、優れた塗膜性能を有するバランスの良いオールマイティーな塗料で、屋内の木部全般に塗装
 することが出来、光沢も クリヤー・フラット半ツヤ・フラット と3種類用意しました。

なお、その他塗料として VOC 1%未満の着色塗料と中塗り塗料も用意しておりますので、VOC 1%
 未満塗料で「着色～上塗り」まで塗装工程を組むことが出来ます。

§ 特 長

水系塗料 …………… 火気の心配がありません。
 臭気が少なく作業中でも気になりません。

低 VOC 塗料 …………… 様々な環境問題や健康障害の原因となる揮発性有機化合物
 (VOC)の使用を限りなく少なくしました。
 東京都が定める「低 VOC 塗料」に適合しています。

厚生労働省の定める有害物質 13 物質	該当しません
厚生労働省の定める毒物・劇物	該当しません
文部科学省の定める学校環境衛生基準 6 物質	該当しません
消防法の危険物	該当しません
「平成 28 年度東京都環境物品等調達方針(公共工事)」の 中で定義している低 VOC 塗料 *1	適合しています

*1 東京都が定める「環境物品等調達方針(公共工事)」には、その他環境負荷の低減に寄与するものと
 して、低 VOC 塗料と記載されており、塗料を使用する場合は、その使用を推進するとなっている。

低 VOC 塗料とは …… 鉛・水銀・カドミウム、六価クロム等の有害金属類を添加してしない塗料で
 あって、VOC 含有量 1%以下の水性塗料であること。

(平成 28 年度東京都環境物品等調達方針(公共工事)から抜粋)

良好な塗膜性能 …………… 肉持ち感ある仕上がりに加え、耐水性や耐薬品性に優れた
 強靭な塗膜を形成します。

VOC 1%シリーズ …………… 上塗り塗料(ネオクリヤーシリーズ)以外にも、着色塗料(3900
 ネオオステイン)、中塗り塗料(3950 サンデング)をご用意して
 おります。

§ 用 途

屋内木部全般（巾木・廻り縁・内壁・造作家具・木床・廊下・階段など）
スポーツフロア等には専用の塗料をお奨めします

§ 塗 料 性 状

* 3960 ネオクリヤー F W01362

外 観	乳白色	完全に乾くと透明になります。
粘 度	32 秒 ± 2 秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.06 ± 0.02	25 (ウェイトカップ)
不揮発分	38.6 ± 1%	計 算 値
光 沢	88%	光沢度計 (黒ガラス板に塗布)
V O C	0.05%	計 算 値

* 3962 ネオフラット半ツヤ F W01363

外 観	乳白色	完全に乾くと透明になります。
粘 度	34 秒 ± 2 秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.06 ± 0.02	25 (ウェイトカップ)
不揮発分	38.4 ± 1%	計 算 値
光 沢	50%	光沢度計 (黒ガラス板に塗布)
V O C	0.07%	計 算 値

* 3965 ネオフラット F W01364

外 観	乳白色	完全に乾くと透明になります。
粘 度	38 秒 ± 2 秒	4 フォードカップ / 25
密 度	1.07 ± 0.02	25 (ウェイトカップ)
不揮発分	38.2 ± 1%	計 算 値
光 沢	20%	光沢度計 (黒ガラス板に塗布)
V O C	0.08%	計 算 値

§ 使用方法

本品は水系の1液型塗料であり 原液のまま塗装出来ますが、必要に応じて水で希釈して下さい。塗装用具は水で洗えますが、乾いてしまうと水では落ちませんので、その際はラッカーシンナー等をご使用下さい。なお、5℃以下の環境下で作業を行う場合には、アクレックス専用凍結防止剤をお使い下さい。

水で希釈しすぎると、求める仕上がりにならない事がありますのでご注意下さい。

§ 乾燥性 (目安) 塗布量 80 ~ 100 g/m² (条件により乾燥時間は変わりますので目安として下さい)

乾燥時間 : 指触 30分、指圧 4時間 (気温 / 湿度 : 20℃ / 50%)

§ 艶消度合 (重量比) 20 / 60%、ガラス板に塗布 (条件により変わりますので目安として下さい)

	3分消	5分消	7分消	8分消
アクレックス 3960 ネオクリヤー	90	70	35	0
アクレックス 3965 ネオフラット	10	30	65	100

§ 塗膜性能

カバ合板 2回塗装 20℃ / 50%にて7日間養生

項目	結果	条件
耐酸性		5%酢酸水 スポットテスト 24時間
耐アルカリ性	× 薄黒変	5%炭酸ナトリウム水 スポットテスト 24時間
耐水性		水道水 スポットテスト 24時間
耐溶剤性		60%エタノール水 スポットテスト 24時間
		塗料用うすめ液 スポットテスト 24時間
		キシレン スポットテスト 24時間
耐マジック性	黒 赤	24時間後ベンジンふき取り
耐クレヨン性	黒 赤	24時間後ベンジンふき取り
耐インキ性	黒 × 赤 ×	24時間後ベンジンふき取り
耐湿熱性		塗膜上に 300 cc沸騰水入りピーカー 30分放置
耐皮脂性		スポット跡 スポットテスト 24時間
		爪ひっかけ スポットテスト 24時間
鉛筆硬度	HB	ガラス板 5ミル (20℃ / 14日後)

§ 塗装工程 (例)

1. クリヤー仕上げ

工 程	使 用 塗 料	塗 布 量	乾 燥 時 間	塗 装 用 具
素地調整	P150 サンドペーパーで研磨			
下 塗	アクレックス 3960 ネオクリヤー	80~100g/m ²	2時間以上	刷毛
研 磨	P320 サンドペーパーで研磨			
上 塗	アクレックス 3960 ネオクリヤー	80~100g/m ²	4時間以上	刷毛

木床など耐久性が要求される場合には、3回以上の塗布をお勧めします。

求める仕上がりの光沢によって、「クリヤー」・「フラット半ツヤ」・「フラット」からお選び下さい。

下塗には、肉持ち性、研磨性に優れた「アクレックス 3950 ネオサンディング」を使用することも出来ます。

塗布量は、素材の吸い込み具合や、平面・立面塗装によっても変わります。

又、乾燥時間は条件により変わりますので目安として下さい。

2. 着色仕上げ

工 程	使 用 塗 料	塗 布 量	乾 燥 時 間	塗 装 用 具
素地調整	P150 サンドペーパーで研磨			
着 色	アクレックス 3900 ネオステイン各色	40~60g/m ²	3時間以上	刷毛
下 塗	アクレックス 3960 ネオクリヤー	80~100g/m ²	2時間以上	刷毛
研 磨	P320 サンドペーパーで研磨			
上 塗	アクレックス 3960 ネオクリヤー	80~100g/m ²	4時間以上	刷毛

色が薄い場合には「アクレックス 3900 ネオステイン」を2回塗りして下さい。

求める仕上がりの光沢によって、「つやあり」・「半ツヤ」・「艶消し」からお選び下さい。

下塗には、肉持ち性、研磨性に優れた「アクレックス 3950 ネオサンディング」を使用することも出来ます。

塗布量は、素材の吸い込み具合や、平面・立面塗装によっても変わります。

又、乾燥時間は条件により変わりますので目安として下さい。

研磨のアドバイス

「フラット半ツヤ」・「フラット」の塗装塗膜をサンドペーパーで研磨する際は、激しく擦り過ぎると、ペーパーの目が詰まり易くなるのでご注意ください。

§ 使用上の注意

5 以下での塗装や、多湿の際の塗装は乾燥時間が極端に遅れるだけでなく、仕上がりが悪くなり、求める塗膜性能が出にくくなる場合がありますので、避けて下さい。

5 以下で作業を行う場合には、アクレックス専用凍結防止剤をお使い下さい。

本品は水系塗料でありますので低温時には凍結します。凍結させますと外観が正常な状態に戻らなくなる可能性がある他、外観に問題がなくても塗膜性能が極端に低下している場合があります。0 以下の場所での保管を避け、凍結させないように注意して下さい。また、しっかりとフタをし、直射日光を避けたところに保管して下さい。

作業中や養生中はできるだけ換気を良くして下さい。

また、上塗りの養生時にはゴミの付着には注意して下さい。

刷毛などの塗装器具の洗浄は、乾かぬうちに水でよく洗ってください。

乾いてしまうと水では落ちませんので、ご注意下さい。

取り扱い中は、塗料ができるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具等を着用して下さい。皮膚等に付着した場合には、多量の石鹼水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときには、医師の診察を受けて下さい。

また、換気を良くしてお取り扱い下さい。

目に入った場合には多量の水で洗い、直ちに医師の診察を受けて下さい。

誤って飲み込んだ場合も、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。

子供の手の届かないところに保管して下さい。

残塗料及び洗浄廃液は、河川・下水などに捨てず、中身を使いきってから廃棄して下さい。

本来の用途以外には使用しないで下さい。

更に詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。